

第20回

日本太鼓全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～



2018年10月7日(日) 開場11:30 開演12:00 終演予定17:00

文京シビックホール 大ホール 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21

主催:  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催: 社会福祉法人 富岳会

主管: 関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部

後援: 厚生労働省、文化庁、東京都、文京区、文京区教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会

協賛: Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団

会長 松本 英昭



このたびの「平成30年7月豪雨」ならびに「平成30年北海道胆振東部地震」災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部を設立し、加盟団体数666チーム、会員総数1万9千人を数えております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、健常者のみならず障害者の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、40年前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも全国の数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として今年で20回目を迎えることとなりました。

一方、海外においても太鼓の演奏が「日本の心」を伝えるものとして高く評価され、財団設立以来47カ国で公演を行ってまいりました。なかでも、2001年5月にロンドン・ハイドパークで開催されました「Japan2001」においては、本日も出演する「富岳太鼓 竜神組」が演奏し、20万人もの観客に大きな感動を与えました。昨年6月にはタイ・バンコクにおいて開催されました「Disability-Inclusive Drum Performance in ASEAN and Japan」にも出演いたしました。また、2003年6月に、米国ロチェスター工科大学並びにギャロデット大学における「聴覚障害者教育と指導技術に関するシンポジウム」に「甲州ろうあ太鼓」が出演したほか、2013年、2014年には、障害者問題に対する意識改革並びに啓蒙活動事業として開催された「ミャンマー障害者芸術祭」に参加いたしました。

このように日本太鼓が健常者のみならず障害者から脚光を浴びるなか、日本財団並びにボートレース関係者の多大なるご支援により、「第20回日本太鼓全国障害者大会」が開催できますことは誠に喜ばしいことであります。出場されるチームの皆様には日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

最後になりましたが、本開催にあたりご支援、ご協力いただきました厚生労働省、文化庁、東京都、文京区、文京区教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会をはじめ、共催の社会福祉法人富岳会、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部の皆様にご心から感謝いたしますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶いたします。

ご 祝 辞

文京区長

成 澤 廣 修



このたび、第20回日本太鼓全国障害者大会～心に響け「ドンドン」フェスティバル～がここ文京区におきまして、5年ぶりに開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しくださいました皆様を心から歓迎いたします。

長い歴史に刻まれたわが国を代表する日本太鼓は、世代を超えて愛される伝統芸能の一つであります。華麗なばちさばきや迫力ある演奏で日本国内だけでなく、世界からも注目されています。

日本太鼓の演奏は、全国各地で音楽療法の一環として行われていますが、全身でリズムを刻むことでの体力づくりや団体演奏によるチームワークの醸成など心身の育成に有効なだけでなく、障害のある方々の日常生活を豊かにするとともに、社会参加の促進に資するものでございます。

本区では、ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンの理念のもと、障害のある人もない人も地域で共に暮らし、共に活動できる社会の実現に向けた取り組みを進めています。本日、全国各地の太鼓チームが集まり奏でる太鼓の音は、その取り組みの推進に、大きく響くものと考えております。

皆様には、練習の成果を存分に発揮して、お互いに交流を深めていただくとともに、皆様の心にも大きく響く一日となることを願っております。

結びに、本大会の開催に当たりご尽力いただきました公益財団法人日本太鼓財団、社会福祉法人富岳会をはじめとした関係者の皆様に、心より感謝と敬意を申し上げますとともに、本大会の成功と本日参加いただいております全ての皆様の今後益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞

社会福祉法人 富岳会
理事長 山内 剛



本日、ここに第20回日本太鼓全国障害者大会を開催するにあたり、共催であります社会福祉法人富岳会の理事長として、一言ご挨拶申し上げます。

静岡で産声を上げたこの大会も、全国各地をまわり、回数を重ねるごとに大きく成長してきました。第20回を迎えた記念大会は、北は北海道、南は九州大分県から、31チームがここ文京シビックホールに集う事が出来ました。これも主催であります公益財団法人日本太鼓財団と、協賛の公益財団法人日本財団のお陰と心より御礼申し上げます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催まであと2年をきりました。この大会を機に障害者のスポーツに関する活動だけでなく、障害者の文化芸術活動をバックアップするための、「障害者による文化芸術の推進に関する法律」が、今年2018年6月7日に国会で可決しました。基本理念の一つに「地域において、障害者が創造する文化芸術の作品等の発表、障害者による文化芸術活動を通じた交流等を促進することにより、住民が心豊かに暮らすことのできる住みよい地域社会の実現に寄与すること」と謳われています。これはまさに、この日本太鼓全国障害者大会が20年前から取り組んできた理念と全く同じです。これにより、今後ますますこの日本太鼓全国障害者大会に注目が集まってくることが予想されます。

障害は一つの個性です。彼らは皆ひとりひとり無限の可能性を秘めています。ただ今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。無心に太鼓を打ち込む姿は、観る人、聴く人に人間の計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれることでしょう。

そして本日お越し下さいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日はご来場ありがとうございました。

ご挨拶

日本太鼓財団 東京都支部

支部長 渡辺 洋一



本日は第20回日本太鼓全国障害者大会にご来場頂きましてありがとうございます。

この記念すべき20回目の大会を東京の地で開催できますことを、関八州太鼓連合・日本太鼓財団東京都支部一同、大変光栄に存じます。そしてこの素晴らしい大会の開催にご尽力・ご協力を頂きました公益財団法人日本太鼓財団、日本財団、関係各位並びに関係諸団体の皆様に心からお礼申し上げます。

この日本太鼓全国障害者大会は、“日本太鼓の響きとリズムが心のバリアフリーとなり、人間の秘めたる可能性と生きることの素晴らしさ、勇気と感動を分かちあう”ことを目的とした非常に意義深い大会であります。

太鼓の一番の魅力は何でしょうか？ それは身体に直接訴えかけてくる音の振動、演奏者の魂の響きだと思います。演奏をする方も観ていらっしゃる方も、理屈抜きに身体で感じる音楽。これこそが太鼓のバリアフリーであるのです。

いよいよ2年後には世界中のアスリートが日本へと集まる東京オリンピック・パラリンピックの開催となります。今まさに日々研鑽を積んでいるオリンピック・パラリンピック選手の皆さんと同じように、本大会で演奏される皆さんも日々練習を重ね、想いを募らせ、仲間との友情を育み、一つの音に心を合わせてきたことでしょう。今日はその演奏の成果を存分に発揮して、さわやかな汗を流していただき、奏者同士の交流もぜひ深めていただき、太鼓の楽しさや感動を分かち合い、思い出に残る大会にしていきたいと思います。

本日は全国より31団体の皆さんが熱く楽しい演奏を披露して下さいます。私達はその想いを受け取って明日からの活力にさせていただきます！

最後になりましたが、今年は年初めから数々の自然災害に見舞われた年となりました。各地の災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げ、皆様の安全と被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第20回日本太鼓全国障害者大会プログラム

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

■ 開会式

■ 演 奏

1. 邦楽アカデミー まほろば組 (東京都)
Hogaku Academy "Mahoroba-kumi" from Tokyo
2. 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会 (新潟県)
Niigata Roa Bandai Taiko "Horyu-kai" from Niigata
3. 社会福祉法人 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓 (山口県)
Asokanosono "Doho Taiko" from Yamaguchi
4. 鼓友 夢光組 (富山県)
Koyu "Nozomi-kumi" from Toyama
5. 伊豆医療福祉センター どんつく (静岡県)
Izu Medical Welfare Center "Dontsuku" from Shizuoka
6. やまびこ太鼓 (福島県)
Yamabiko Taiko From Fukushima
7. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka
8. 釧路聴力障害者協会蝦夷太鼓 (北海道)
Kushiro Deaf Association "Ezo Taiko" From Hokkaido
9. 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓 (石川県)
Meiwa Special Support School "Ryuken Taiko" from Ishikawa
10. 御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢 (長野県)
Osuwa Taiko "Kokyoryumu" from Nagano
11. 大江戸助六流 東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」 (東京都)
Tokyo Deaf Taiko Club "Koyu-kai" from Tokyo
12. にこにこ青年講座 風のひびき (静岡県)
Kaze-no-hibiki from Shizuoka
13. 甲州ろうあ太鼓 (山梨県)
Koshu Roa Taiko from Yamanashi
14. 和太鼓 花の木組 (長野県)
Wadaiko Hana-no-Ki-kumi from Nagano
15. 縄樂座 (千葉県)
Jorakuza from Chiba

-
- | | | |
|-----|--|-------|
| 16. | ファミリーユニット童鼓
Family Unit "Dokko" from Gifu | (岐阜県) |
| 17. | 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka | (静岡県) |
| 18. | 神戸ろう太鼓集団 鼓神
Kobe Deaf Taiko Group "Koshin" from Hyogo | (兵庫県) |
| 19. | 社会福祉法人 大分県社会福祉事業団
大分県糸口学園 糸口太鼓
Itoguchi Taiko from Oita | (大分県) |
| 20. | 静岡ハンディキャップ太鼓の会
Shizuoka Handicapped Taiko Club from Shizuoka | (静岡県) |
| 21. | NPO 法人太鼓の楽校 太鼓一家
NPO Taiko School "Taiko Family" from Tokushima | (徳島県) |
| 22. | 甲斐乃和太鼓 心響会
Kai-no-Wadaiko "Shinkyo-kai" from Yamanashi | (山梨県) |
| 23. | 富岳太鼓 竜神組
Fugaku Taiko "Ryujin-kumi" from Shizuoka | (静岡県) |
| 24. | 石川県立ろう学校 風神太鼓
Ishikawa Deaf School "Fujin Taiko" from Ishikawa | (石川県) |
| 25. | すまいる和太鼓クラブ
Smile Taiko Club from Osaka | (大阪府) |
| 26. | 恵那のまつり太鼓
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu | (岐阜県) |
| 27. | 諏訪どんどん太鼓
Suwa "Dondon Taiko" from Nagano | (長野県) |
| 28. | なごみ太鼓喜楽
Nagomi Taiko "Kiraku" from Shizuoka | (静岡県) |
| 29. | はねっ鼓
Hanekko from Tokyo | (東京都) |
| 30. | 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」
Shikokuchuo-city Iwakura Deaf Taiko Club "Koryu-kai" from Ehime | (愛媛県) |
| 31. | 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」
Toyonaka Deaf Taiko Club "Kobiki" from Osaka | (大阪府) |
-



2005年に施設の方々、就労された方々、指導補助をして下さる方々も加わり、太鼓を通して心をひとつにして和の音の素晴らしさを伝える同好会「和太鼓流星群 withX」が2016年、指導者も新しくなり「邦楽アカデミーまほろば組」として新たに発足しました。練習は月2回第1第3土曜日1時間と少ない時間ですが、急がず、ゆっくりと障がいになれる事なく、自分に厳しく又人には思いやりを持ち、そして太鼓の音と心をひとつにして、聞いて下さる方々の心に響く音を目指しています。

心を込めて演奏します。

代表者 湯澤 元一

山中 望 津田 幸記 飯島 英宏 前田 陽子 岡庭美由紀 久保 尚之
梅津 巖 坂本 憲彦 岩田 奈穂 高歙 禎明 工藤 彩 田中 美帆
真木 雄大



私たち、新潟ろうあ万代太鼓豊龍会では、音楽好きな仲間と共に文化活動を推進するための活動をしています。昭和56年6月創設以来毎週欠かすことなく練習を重ねてまいりました。メンバーは勿論、全員ろう者です。

これまでに毎年、新潟まつりや福祉行事などに積極的に出演してきました。平成7年2月にはアメリカ、ガルベストン市、平成10年7月にもロシア、ウラジオストク市に渡り、演奏と友好を深め、国際交流の大任を果たすことができました。平成21年10月には新潟市ビックスワンスタジアムで開催された、第9回全国障害者スポーツ大会「ときめき新潟大会」の開会式では、皇太子殿下をお迎えして、歓迎太鼓を披露しました。平成24年7月には結成30周年記念集会を得、現在、毎月2回の練習の他、新潟まつりのパレード、老人介護施設慰問、小中学校の演奏交流、福祉団体の各種行事などで演奏を披露しました。又、平成27年の3月にも宮城県塩竈市で開催された第50回耳の日記念手話まつりにアトラクションとして出演させて頂きました。今後も息の合った演奏を披露し続けたいと思います。

代表者 家坂 光雄

佐藤 健一 木戸 和史 山岸 弘和 吉村 銀平 渡辺 伸也 山岸絵里加
 佐藤 浩美



平成16年4月より、「あそかの園 同朋太鼓」は利用者療育支援の音楽療法として、活動を始めました。試行錯誤の立ち上げでしたが、音楽療法を目的に地域の太鼓チームの指導を受け、「形から心へ」の思いで頑張ってきました。利用者の皆さんは地域の方々からエールをいただきながら演奏できることに、大きな喜びを感じています。法人の行事や地域のたくさんのイベントに参加させていただき、演奏することに自信を付けることもできました。少しずつですが、上達することで利用者・職員共に喜び合っています。日本太鼓全国障害者大会には12回目の出演です。太鼓演奏をすることでたくさんの人との出逢いに感謝し、この度も心を込めて元気いっぱい演奏します。

代表者 河内 美舟

加藤 正明 山本佳葉子 瀬畑 博仁 天上 睦月 五十嵐久恵 安尾 好史
片岡 悟 金子 貴成 島田 貴晃 佐藤 仁美 栗光恵美子 先本 理絵



私たち、鼓友 夢光組は、2003年に、富山県立となみ総合支援学校和太鼓クラブの卒業生とその父母で結成されました。その後も少しずつメンバーが増え、どんどんにぎやかになりました。そして現在は、となみ総合支援学校や地元の小学校を利用して、毎月3回練習をしており、年間を通して地域の祭りやイベントなどで演奏しています。

この全国大会には、2006年の郡山市での大会から毎年参加しています。昨年初めて演奏した「五彩の響き」を今年も演奏するために練習を頑張りました。昨年より成長した「五彩の響き」を聞いてください。

代表者 水口奈保子

影近	智大	秋本	達也	秋本	秋美	高崎	靖子	高崎真貴子	池田	優太	
池田	好子	瀬川	智子	加藤	翔太	加藤	博子	清水明日美	北	優梨恵	
増岡	涼	増岡	靖子	法嶋	健太	法嶋	三津子	澤村	優花	澤村	孝子
高橋	大康	高橋	輝子	池田	林平	池田	洋子	吉岡	浩美	吉岡	奨平
奥野	康博	奥野	千栄子	河原	雅康	河原	史衣子	安達	謙二	安達	かおり



どんつくは、世界遺産の一つにあげられる韮山反射炉のある伊豆の国市を拠点に活動しています。

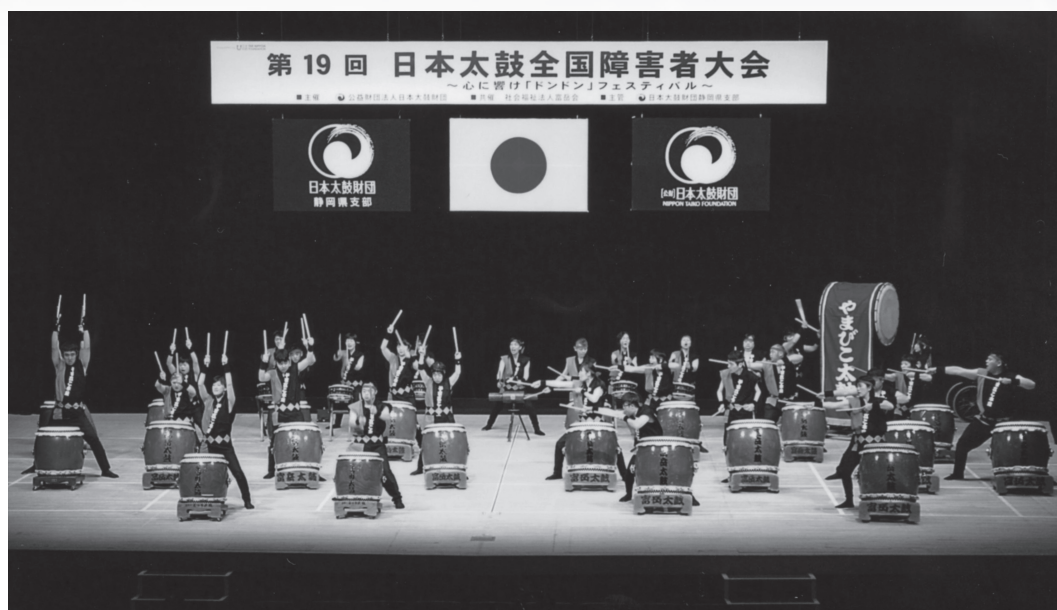
二十余年前、当時、肢体不自由児施設だった旧伊豆療護園の入所児の「たいこやりたい」の声で、余暇時間の活動として始まりました。入所している児、卒業したOB、太鼓に興味を持った外来の児者で活動を広げ、今日に至っています。

近年は、重症心身障害児者の施設 伊豆医療福祉センターとして種別変更された関係で、外部のメンバー中心で地元の演奏活動を行っていますが、入所者の中には、何年もの時を経て、演奏を習得した者もいます。

メンバーの一人 淳樹が、作調した「潮騒」を演奏します。

代表者 佐藤 倫子

前田 健伺 小林 悠太 安彦 慶介 安彦由美子 真島 花鈴 真島 真知
谷口 蓮 小池健太郎 宍倉 慧美 樋口 恵子 村田 淳樹 森 祐子
石原 綾乃



私たち「やまびこ太鼓」は、知的障害の子とその親で活動しているチームです。今年で20年目を迎えました。毎年参加している全国障害者太鼓大会を目標に、うねめ太鼓の支援を受けながら毎週土曜日に練習をしています。

「太鼓を楽しむ」を合言葉に、音を合わせる・強弱つける…等、細かい部分にも力を入れてきました。

子どもたちの元気とやる気。その気迫に引っ張られる親たち。これからも笑顔と元気を届けられる演奏が出来るように親子で頑張ります。

代表者 三瓶 律子

三瓶沙弥香	吉田 輝	吉田 久恵	佐藤日出海	佐藤 京子	室井亜理紗
室井春美恵	遠藤 正樹	遠藤トミ子	阿久津陽介	阿久津恵子	佐藤 亮太
佐藤 真弓	河治 勇志	河治美代子	根本 樹	根本 裕子	三田 昌之
三田 幸枝	石田 洋人	石田奈緒子	武田 悠真	武田 淳子	川又 誠司
川又 豊子	後藤 拓人	後藤 真弓	深江 恵子		



私達チャレンジチームは平成10年に産声をあげ今年で19年目となります。初めは少ない人数から始まり、今では30人とふくれあがりました。入門した子供達が小学生となり、中学生となり、又社会人となりそれぞれがんばっています。チャレンジチームもやっと軌道にのったかな、と思います。手さぐりで始めたチャレンジも一曲一曲とおぼえて、今6曲目になりました。スタッフが覚えやすいような曲をつくり、皆でがんばっています。メンバーの一人は、太鼓貸してと言って、親と一緒に一人で太鼓演奏に行くまでに成長してくれました。これからも多くの友達をつくり楽しい太鼓をたたいて何にでもチャレンジしていきます。皆様よろしくお願ひします。

代表者 和田 光則

齊藤 悠希 齊藤 香織 萩原 学 森本 絵里 小林 彩佳 鈴木久美子
 酒井 勝則 酒井 光枝 山内 大佑 山内 佐敏 山内 恵子 増田 芳宏
 増田 和馬 池久保 葵 岩堀 巧誠 横山 継哉 原田慎太郎 小玉恵美子
 塚田 利恵 武田ひろみ



くしろ港まつりでの勇壮な和太鼓の響き、“耳で聞き取れなくても全身で感じる事が出来る！”この出会いがきっかけとなり、昭和55年4月正式に「釧路聴力障害者協会蝦夷太鼓」として創立し、今年で39年目迎えました。

この間、北海道くしろ蝦夷太鼓保存会の協力と指導を経て、今では自分達らしく舞台上で表現できるまでになりました。

音としてとらえる健聴者に対して、振動を響きとして感じながらの稽古は容易なものではありませんが、これからも一所懸命に打つ姿を通し、私たちの音と出会うすべての皆様に、深い感動をお伝えしてまいります。

代表者 山口 雄太

末吉 英雄 荻原 誠一 片寄麻也子 山口 良雄 二本柳智子



平成21年度5月に創部した和太鼓部「龍剣太鼓」です。太鼓や衣装などPTAはじめ多くの方々の応援をいただいています。また、衣装の「龍」は卒業生でイラストレーターの松元伸乃介さんのオリジナルです。

創部した年に石川県で行われた本大会で、私たちは全国の仲間の素晴らしい演奏を聴き、ぜひ参加したいと思いました。そして22年度から毎年本大会に出演してきました。太鼓が大好きな部員が一生懸命演奏し、観客の皆様とともに感動を分かち合う貴重な体験をしました。

昨春1名の部員が卒業し、今年度は2,3年生6名の部員で取り組んでいます。平成24年度に和太鼓OB会が発足し、部員とOB会のメンバーとの合同チームで参加しています。安江信寿先生の熱いご指導を受け、今日のために一生懸命合わせようと練習してきました。今日は石川県立ろう学校「風神太鼓」との交流や文化祭等での演奏を経て、1年ぶりに部員とOB会との合同メンバーでこのステージに立ちます。ご声援よろしくお願いいたします。

代表者 松島 明広

中田麻莉愛 廣瀬 零士 工藤 智貴 西 勇輝 田代 優雅 小森 千響
伊藤 祐介 林 芳樹 若林 美香 米田 優一 小林 源大 谷中 天紀



御諏訪太鼓保存会「湖響龍夢」は小学生から社会人までの、様々な苦手をもつメンバーが月に2回、金曜日の夕方に集まり、練習をしています。一人ひとりがゆっくり上達して演奏が出来る様になってきました。

「湖響龍夢」の名前の由来は、諏訪湖に響く龍の夢という意味で、龍は諏訪大社の守り神であり、諏訪湖にそそぐ天竜川の龍で、私達一人ひとりのことです。私たちの夢が、太鼓の響きに乗って諏訪の地域に響くようにという願いを込めて太鼓を打っています。

「湖響龍夢」では太鼓を通して、あきらめずにがんばる力をつける事を大事にしています。継続は力、みんなで励まし合いながら、楽しく太鼓を打っていきたいと思います。

代表者 古屋 邦夫

林 佑紀 辰野 聖太 桧山 将輝 三澤 珠愛 宮澤 直之 窪田 椋汰
須田 将弘 石井 彩絢 古畑 美心 勝村 晃督 伊藤 謙 三澤 久子
須田 隆弘 丸山 育子 菅原 麻友 山口あさち 福田 敬子 菅原加代子
矢ヶ崎勇健



1983年、日本チャリティ協会の方から和太鼓を演奏してみないかと社団法人東京都聴覚障害者連盟に話が持ち込まれたことをきっかけに「社団法人東京都聴覚障害者連盟文化部／東京ろう者和太鼓倶楽部」が発足。1984年、プロ団体大江戸助六太鼓に入門。1984年8月、聴覚障害者の組として耳が聞こえなくても身体で響きを感じて「太鼓は心で聴いて心で打て」と宗家より大江戸助六流「鼓心会」と名を頂く。入門して以来、メンバー5～8名が太鼓稽古をして舞台上で発表できるまで育つ。2005年3月、聴覚障害者の組「鼓心会」解散。2008年4月、「鼓友会」に改名。「大江戸助六太鼓流」の太鼓を打ち続けたいという心構えに、宗家である小林正道氏が再度愛のムチを打つことになる。

少数の太鼓に対する思い入れをひとつの心にする為に「鼓友会」として再出発。2018年で結成35周年目。新たにろう者による音楽活動の啓蒙を中心に多くの人たちへろう者への太鼓演奏を見ていただくこと尚且つ交流会を中心に活動している。現在はメンバーの減少により、ままならないこともあるが、宗家より師事頂いた伝統打法を大切に今後とも伝え続けていきたいと思う所存である。今日は小林正道に師事している仲間と一緒に和太鼓音楽であるアンサンブル曲を演奏いたします。

代表者 加藤智差子

井手 聖子 杉山まりこ 秋野眞由美 高田 利恵



私達の母体は知的に障害のある人たちの自立を目的とした生涯学習の余暇支援の一貫で行っている「にこにこ青年講座」のクラブ活動として、平成14年8月に発足しました。当初は上手になることが目的でなく、余暇の居場所づくりと体力の保持、太鼓を叩くことによって考える力、脳の活性化、心の癒しを目的としての「音楽療法」として始めました。セッションとしての練習を重ねることによって、結果として上手に打てるようになることで、自分に自信が付き、普段の生活の中で役立つことを目的としています。

しかし、練習だけでは自分の技術の向上が確認できないという意見が出てきましたので、地域や障害者団体のイベントや県の芸術祭、チャリティ、地域のお祭りなどに年に5回くらいの発表を行っています。

また今年は、地域のお祭りでの舞台演奏の依頼がありました。このことは私たちの活動が地域の中で根付いてきてこれからの活動の励みになります。今後もその評価によって自分自身に自信を持ち、障害に負けない充実した生活が送れたら良いと思っています。

代表者 芝 安司

芝 晴美 川本 久子 川本浩太郎 小林真里子 小林 秀夫 田中 才洋
山本奈千子 福世 泰子 若味 香苗 若味 理絵 若味 一秀



音の無い世界にいる私たちが“音の世界と関わりたい、音楽を楽しみたい”その思いで昭和56年1月に結成し、今年で37年になりました。“聞こえないからできない”ではなく、“聞こえなくてもやればできる！”と聴覚障害者を中心に活動を展開してきました。

当初、南アルプス市の甲州遠光太鼓保存会から指導を受け、平成になって長野県の御諏訪太鼓から教える機会に恵まれました。現在、私達の可能性、技術の限界を極めようとチームの体制を変え、随時、プロの前田タクヤ先生の指導を受けながらレパートリーのスキル向上に取り組んでいます。

福祉に関する演奏依頼を賜り、聴覚障害の生活、コミュニケーション方法の一つである手話を広めながら聴覚障害者による音楽活動の啓発活動を続けていく所存です。幾多の困難を乗り越え、多くの方々への感謝を胸に日本の伝統芸能の一翼を担うという、ほんの僅かな自負心を持ちながらこれからも更なる飛躍を目指して頑張りたいと思っています。

代表者 井上 直光

桜木 力 山口 龍太 山口 優子 山口 心陽 山口 新太



和太鼓 花の木組は、太鼓が大好きで卒業してからも太鼓を続けたいという仲間たちが集まって立上げ、今年で12年目を迎えます。現在、30名以上のメンバーで毎月第2・第4日曜日を定例の練習日として活動しています。毎年全国大会出演を目標に練習に励み、今回で3度目の出演となりました。今年の5月には、第3回花の木組の公演を開催し、皆で励まし合い、心をつにして一生懸命演奏しました。本日は公演で演奏した、イチの太鼓をさらにパワーアップさせ、全国大会バージョンで演奏いたします。一生懸命演奏します。よろしくお願いいたします。

代表者 今村きよみ

小林 綾子	金田 昌幸	伊藤 隆昌	金田 竜彦	篠田 知歩	梶田 知良
宮下 翔一	栗木 翔	小平 将貴	斉藤 亜耶	山岸 晃代	片桐 美彦
今村 玲南	牧島 育子	赤羽目 紘也	北野 元晴	平 摩耶	堀尾 宏
新井美保子	三浦 桂子	水野 静江	熊崎 武志	斉藤 れい	斉藤 夏菜
松澤幸次郎					



創作芸能縄樂座は、千葉県香取市に2003年発足し、町の風物詩として、お正月の獅子舞門付け、施設慰問、子ども教室等、神楽・獅子舞・太鼓を通して積極的な活動を行ってきました。15年の歳月は地域文化の存在意義を学ぶ貴重な機会でもあり、活動の中に様々な要素が含まれております。2008年から文化と福祉プロジェクトとして、難病・認知症・小児がん・障害児などをテーマにした活動にも力を注ぎ、2011年東日本大震災で被災した地元や東北へも積極的に文化交流支援を行ってまいりました。これからも縄樂座は障害の有無は関係なしに技と精神を学び、伝統芸能の魅力を伝えていきたいと考えております。

代表者 松井 敏昭

秋葉 博之	秋葉 晴美	秋葉 大和	葉木 佑佳	星野 豊和	飯田真理子
林 駿樹	青柳 泰介	林 純子	飯田 友子	星野 成子	遠藤真美子
高木美知子	曳地 君子	大屋 千鶴	曳地 修		



私達「ファミリーユニット童鼓」は障がいを持つ子どもたちと、その親により和太鼓の演奏をしているグループです。子ども達に太鼓の楽しさを教え、人前で堂々と発表できる子どもに育てる趣旨で結成されました。

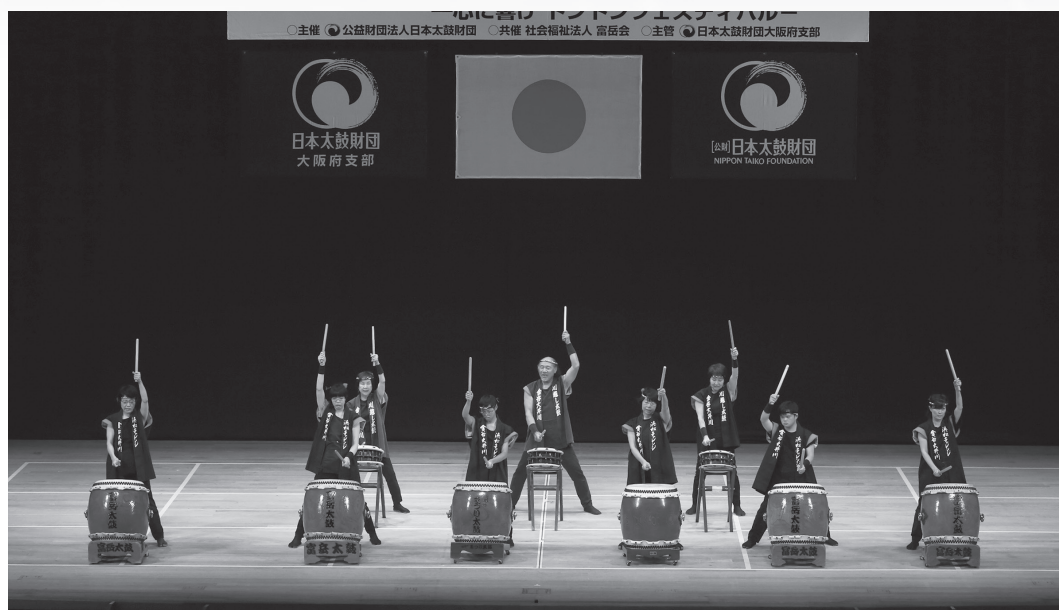
障がいを持つ子ども達とその家族が、力をあわせてひとつになり、そしてそれぞれの家族が、重要な役割を持ち、すなわち「ファミリーユニット」となってこの演奏活動を行っています。

太鼓の練習を継続することにより子ども達は、太鼓の技だけではなく、がんばれる力、集中力、そして人を思いやる心も育ちます。

また、たくさんの発表の場を経験することにより、もっと上手になりたいという向上心、やり遂げた達成感、それらすべてが、子どもたちの自信につながっています。子ども達が成人した今後も、変わらず元気に活動していきたいと思っています。

代表者 児島 和夫

奥村 杏里	奥村 千鶴	川口 舞	川口 清美	河田 浩貴	河田 厚子
児島 康寛	児島 秀美	高橋 秀徳	高橋 貴子	中島 寛文	中島 幸子
渡邊 史浩	渡邊 朋子				



私たち、浜松チャレンジチームは、平成21年5月に障がいを持つ子とその親で結成をしました。全国大会への参加は、今年で8回目となります。

金谷大井川川越し太鼓の和田先生をはじめ、小玉先生と塚田先生に、月1～2回、浜松までお越しいただき、公民館を借りて練習をしています。

地元で行われているコンサートや金谷大井川川越し太鼓の皆さまとチャリティコンサートに参加させていただき、楽しく元気に演奏をしています。

今日も一生懸命、演奏いたします。よろしくお願いいたします。

代表者 斎藤 寿見

斎藤 香織 斎藤 悠希 三原 京子 三原まゆみ 松浦 光 松浦真由美
佐藤 佑紀 佐藤千佳代 横田 貴子 横田 良子



2003年4月聴覚障害者を中心に結成。和太鼓部とエイサー部があります。神戸市でボランティア団体として登録し、高齢者施設などで演奏活動しながら聴覚障害者団体のイベントや一般公募のイベントにも積極的に参加しています。かねてから神戸の地で聴覚障害者の太鼓の会を作りたいという夢がありました。それで、太鼓の好きな仲間が集まってスタートしました。以来、「聞こえなくてもやればできる」「あきらめない」を合言葉に頑張っています。

聞こえなくてもいろいろ工夫して自分なりの演奏を心がけています。また、太鼓の響きを体で感じながら、演奏を楽しむということも大切だと思っています。日々、試行錯誤ですがハンデに甘えることなく、常に上を目指すことを忘れないで練習を重ねていきます。

代表者 岡崎 隆吾
北川 光雄 水野 洋子 藤田 美佐子



『糸口太鼓』は、大分県宇佐市にある大分県社会福祉事業団「大分県糸口学園」の利用者で結成した和太鼓チームです。当園では、運営方針の中の特性を伸ばす支援の一環として、『伸びる芽を育てよう』を合言葉に、文化活動として和太鼓・スポーツ活動として陸上に取り組んでいます。

小学6年生から高校3年生までの計6名という少ないメンバーで支え合いながら日々の練習に励んでいます。

今年度はチーム結成25周年を迎えようとしています。多くの方からの応援を受けることがメンバーの自信につながり、明日への糧となっています。

代表者 加藤るり子

平山 広太 新川竜之助 堀 龍哉 塩月 貴晴 首藤 誠人 渡辺 和樹



1999年6月、現在の村上代表により結成したグループで、障害を持っている人たちを対象に、太鼓を通して障害のある人たち及び地域の人たちとの交流を目的にしております。

結成当初、演奏ができるだろうかと心配しましたが、太鼓仲間の理解と応援もあり、月4回の練習にみんな楽しく一生懸命に取り組み、中日新聞の中日ボランティア賞を受賞できました。静岡市内の行事や施設等の夏祭りには毎年参加し演奏活動を行っています。

知的障害者・ダウン症・自閉症・身体に障害のある7歳の児童から60歳までのメンバーが練習にはげんでいます。

太鼓の演奏活動をすることにより、障害を持つ人たちと持たない人たちが交流でき、少しずつではありますが地域の人たちの理解を得てきています。

障害のある人たちと一緒に楽しみ、太鼓を通して共に社会参加の場作りをしています。どうぞ、よろしくお願いします。

代表者 村上 潤子

永田 優 勝又 千智 宮原 拓野 宮原 義博 宮原 典子 前田 進伍
 増田 晴人 増田 秀美 宮崎しんいち 永野 淳也 永野 里美



「誰もが、太鼓を楽しく！」というノーマライゼーションの理念に基づき純粋な気持ちをより多くの方に伝え、阿波の伝統芸能阿波踊りの文化を大切にして「日本の心」を広めていくことを目的として、年齢や障害の有無に関係なく、老若男女太鼓を楽しんで頂けるような環境作りに取り組んでいます。

NPO 法人太鼓の楽校は2012年に法人格を取得し活動母体となる「太鼓一家」が中心となり、演奏活動や、太鼓の指導、知的障害者のチーム作り、ワークショップの開催、障害者支援、社会福祉、指導、講師派遣など、徳島県吉野川市を中心に様々な活動をしています。

代表者 中西 渉

野村みどり 大崎 訓子 瀧川 僚 前田 泰子 八木 健太 前田 憲二
中野 美咲



平成27年6月に「甲斐乃和太鼓 心響会」という名称で新しく立ち上げたチームです。障害者と健常者で構成していますが、和太鼓のノーマライゼーションを目指して活動しております。演奏は全員一律同じように打つのではなく、障害者には障害の度合いに照らし合わせて一番良い方法を考えて行っています。

そして先ずはチームワークを一番大切に、次に心に響く演奏をモットーに練習に励んでいます。これからも頑張っていきますが、全国の皆さんどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表者 小野 智弘

杉山 悠美 齊藤 里恵 齊藤三輝成 狐塚 亮 山地 隆公 遠藤 久美
遠藤 大成 遠藤 蒼空 神田 弘樹



富岳太鼓は、日本一の霊峰富士の麓、静岡県御殿場市に所在します。設立のきっかけは1977年、社会福祉法人富岳会会長山内令子が、法人の施設を利用する知的障がい者のセラピーとして、和太鼓に着目したことから始まりました。富岳太鼓は魂を揺さぶる「響き」、鼓動と同調する「リズム」、感情を全身で表現する「躍動」、共に打ち込む「喜び」など、打てば響く太鼓の持つ秘めたる可能性を、独自に開発した和太鼓療育プログラムに効果的に取り入れ、知的障がい者のセラピーとして実践しています。そしてその効果は心身他面に表れ、今では障がい者のリハビリテーションや社会自立のトレーニングとしては勿論のこと、障がい者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目を集めています。

富岳太鼓の富岳とは富士山の別名であり、その名の通り、演奏する曲の総てが富士山にまつわる神話、民話、自然をテーマとしたものであり、富岳太鼓代表山内強嗣の手によるオリジナルの創作太鼓です。

代表者 山内 剛

早野 均 野田 幸宏 大嶋 翔太 山内 和紀 石原 純 久保田真喜
宮野 由仮 三橋 磨美 竜田奈津美 高森 春香 小林 依愛 勝俣 宏祐
芹澤 加奈 芹澤 里奈 五十嵐善一 田中 大輔 山内 勇人



「風神太鼓は」石川県立ろう学校の中学部の生徒全員によるチームです。外部講師として安江信寿氏をお招きし、今年で21年目となりました。みんなで、体の動きとリズムを合わせようとする気持ちを大切に、一生懸命演奏することを目標としています。今年度は新たに2名の1年生を迎え、10名の新しいチームとなり練習に励んできました。技の向上だけでなく、人間性や社会性の育成を目指して活動しています。

今日は全員の心を一つにして、一生懸命演奏します。聴いてください！

代表者 松原 潤子

坂口 真介 城崎 雄二 堂口 彩花 萬田 航大 潟見 武龍 南 瑠人
森山 零菜 梅野 真生 中田 千夏 山本 彬喜



NPO法人視聴覚二重障害者福祉センター「すまいる」は、盲ろう者（視聴覚二重障害者）が、自主的に運営する団体として1999年1月に発足し、2001年にはNPO法人格を取得しました。「盲ろう者」というのは、ヘレン・ケラーに代表させるように、目と耳と同時に障害を併せ持つ人たちの総称です。和太鼓クラブは2002年から部員4名でスタートしましたが、現在の部員は10名になりました。

僕たち盲ろう者は、上手く出来なくて途中でやめたくなくなったり泣いたこともありました。僕たち盲ろう者は、目が見えなくても、耳が聞こえなくても、やればできるのだということを皆さんの前で、これからもどんどん発表し、社会に盲ろう者の存在をアピールして、太鼓をはじめとする様々な活動にチャレンジすることにより、盲ろう者の自立へ一歩近づきたいと思っています。

代表者 中本 謙次

門川紳一郎 栗本 養二 山崎 初江 西尾 網巳 藤高 尚美 内田しのぶ
石塚祐一郎 三輪 隆子



恵那のまつり太鼓は、平成元年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓さんに太鼓を学び、二尺一寸の太鼓と孟宗竹からスタートしました。

障がい者支援事業所の利用者・スタッフで構成され、現在レギュラーメンバーは、利用者さん15名と職員4名です。主に、施設の行事や地域のお祭りや県内外のイベント、障がい者太鼓大会などに参加しています。その他太鼓クラブとして重度の障がいの方含め太鼓好きの12名が昼休みなどを利用して練習を行っています。

リズムや打ち方を打ちやすくアレンジしますが、身に着くには時間がかかり、作業後の時間を使って繰り返し繰り返し練習をしています。

大変な事もありますが、その分、やりがいや達成感があります。楽しむ気持ちと一生懸命打つ気持ちで演奏しています。

代表者 小坂 孫次

安藤 恵一	安藤 利夫	井口 恵一	伊佐地 工	伊東 鉄也	伊藤 佳央
大黒 純也	後藤 健治	嶋田 陽子	武川 勝則	田中 里美	長尾 和子
春田 信也	吉村 健	古田 浩史	酒井 薫	八澤 正弘	外山 和紀
西尾美乃里					



私たち諏訪どん どん 太鼓は、今年で発足15年目を迎えることができました。諏訪養護学校中学部在学中に太鼓に出会い、その後、当時担任だった先生と保護者も加わり、平成15年に太鼓サークルを立ち上げました。以来、諏訪太鼓の赤羽先生にずっと指導していただき、新しい仲間も加わりました。

休日を利用して月に2回の練習をしています。皆と音を合わせリズムをとり、強弱をつけたり、振りをつけたりと、難しいところもありますが、繰り返し指導していただき、曲が出来上がってくると、皆満足な表情となります。また、大勢の皆さんの前での発表は、大きな励みです。これからも楽しく太鼓を打っていきたいです。

代表者 小口 節子

小口 裕 小口 直輝 高橋 亜矢 高橋 永子 熊谷 和磨 熊谷 玲子
松澤 采芽 折井 政智 折井 淳子 畑中 信人 畑中 恵 和田 美枝
赤羽 昭二



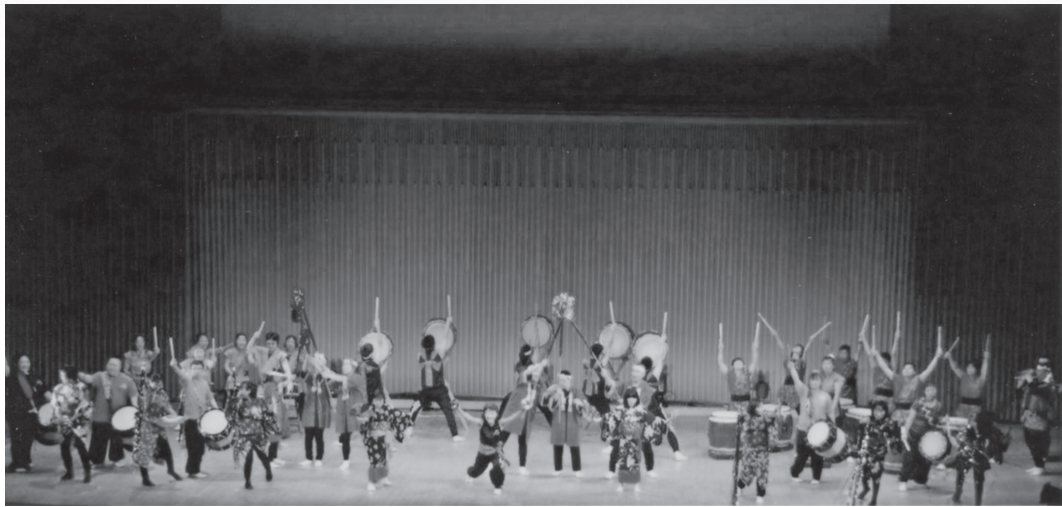
なごみ太鼓喜楽は、平成20年に静岡県伊豆市の障害をもった仲間とその家族、そして支援してくれている堀江師匠と結成し、今年で10年目を迎えました。

全国大会出場は6回目となり、初めて出場したのが、今回の開催場所である東京大会でした。皆初めてで胸がドキドキの中、大勢の人の前で演奏できたことは、大きな自信につながり、これからの希望がもてた時でした。

今日は、その時の初心の気持ちを忘れず、ここ東京の地で、今までの成果が充分発揮できるよう、メンバーの心がなごみ、喜び楽しんで太鼓を演じたいと思います。皆さん応援よろしくお願いします。

代表者 田足井みさ子

堀江 利彰 森野 敦子 森野 和仁 城所 芳子 田足井順基



はねっ鼓は、平成18年に太鼓大好きな特別支援学校の卒業生と親達で結成しました。当初16名からのスタートが今では34名に増えました。練習は月2回(全体で1回、グループに分かれて1回)行っています。発表の場も増え、地域のイベントやお祭り等で演奏しています。

又、創立5年目のファーストコンサートに続き、去年3月に10周年節目のセカンドコンサートを開きました。今度は15年に向かって益々意欲的にはねっ鼓のパワーと団結力で、頑張っていきたいと思っています。

今日は生命の詩を精一杯、心をこめて演奏したいと思いますので応援よろしく願いいたします。

代表者 藤原 幸子

平石 建太	碓井 勝大	六反田和貴	中村 正	岸波 祐希	山中 康弘
近藤 浩	今村 貴彦	森高 聡美	森高 麻穂	吉岡 美佳	正木 麻衣
廣島 君江	廣島 優	藤井ゆかり	藤井恵利佳	市川ミヨ子	市川 亘
村上 佳子	村上 千景	三田かおり	三田 和弘	舟山 佐智	舟山 直弥
吉田 真弓	吉田 真梨	福田 郁子	福田 篤志	田中 徹	田中 直美
田中 美沙	藤原 洋輝				



「ろうあ者でも頑張れば太鼓が打てるはず!!」そんな思いで昭和62年7月、耳の聞こえない仲間が集まりました。日本太鼓の勇壮な響きを何とか自分たちで表現したいと、磐座太鼓保存会の指導を受け、練習が始まりました。

太鼓は叩けば音は出ますが、太鼓の演奏となると全員が同じテンポで叩く必要があります。それまで音楽の世界を知らなかった私たちには、この「テンポ」を掴むのが大変な苦勞でした。

一つの太鼓を皆で囲んで叩いてみたり、メトロノームを真ん中に置いてそれに合わせて叩いてみたりしましたが、なかなかうまくいきません。

一列に並んで「1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4・・・」と歩調を合わせて歩く事によって、ようやく「テンポ」を理解する事ができました。太鼓の練習を始めて3年、さまざまな工夫をして、やっとの事で音楽の基本を理解する事ができた訳です。

全員がこのような努力をし、一人一人がしっかり「音」を掴む事ができたからこそ、今こうして太鼓の“演奏”ができるのだと思います。

活動を始めてもう30年になりますが、今考えても、最初の3年間は決して無駄ではなかったと思っています。

これからもこの基本を大切にして、体の続く限り、楽しんで太鼓の活動を続けたいと思います。

代表者 石川 康文

加地 保則 勇 留美 勇 雛乃



平成3年11月10日、豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を叩いたのがきっかけで、正式な発足は平成4年5月になります。

平成7年3月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」から「鼓響」と改称し、現在に至っております。

「鼓響」とは音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味でつけました。

響きを体で感じ演奏するという非常に限られた音楽表現ですが、聞こえないから出来ないのではなく、聞こえなくても出来るという事を知って頂きたいのです。

練習は健常者の方々の数倍、数十倍もの時間がかかります。

集中力と体力の勝負ですが、一つの事をやり遂げたいその思いと、日本の伝統である和太鼓を一人でも多くの人に楽しんでもらえるよう、これからも練習に励んでいきます。

代表者 宮田千恵子

坂本 善美 木村 英治 藤原 幹男 川本 進 本出 典子

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年 7月25日(日)

場所：静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ(静岡県静岡市)

出演団体：13団体 観客数：1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年 6月17日(土) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出演団体：14団体 観客数：1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 1月20日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出演団体：19団体 観客数：1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 9月22日(日) 場所：恵那文化センター(岐阜県恵那市)

出演団体：17団体 観客数：1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年 9月 6日(土) 場所：青山劇場(東京都渋谷区)

出演団体：18団体 観客数：1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月 3日(土) 場所：諏訪市文化センター(長野県諏訪市)

出演団体：21団体 観客数：1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日(日) 場所：ギャラリーかめおか(京都府亀岡市)

出演団体：22団体 観客数：1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年 9月10日(日) 場所：郡山市民文化センター(福島県郡山市)

出演団体：19団体 観客数：2,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月 7日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出演団体：25団体 観客数：1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月 5日(日) 場所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)

出演団体：26団体 観客数：1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日(日) 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)

出演団体：24団体 観客数：800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日(日) 場所：フィットネスハウス・アリーナ(千葉県成田市)

出演団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日(日) 場所：郷の音ホール(兵庫県三田市)

出演団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出演団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日(日) 場所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)

出演団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日(日) 場所：大東市立総合文化センター(大阪府大東市)

出演団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日(日) 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)

出演団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日(日) 場所：大垣市民会館(岐阜県大垣市)

出演団体：27団体 観客数：800名

第19回日本太鼓全国障害者大会

日時：2017年10月1日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出演団体：27団体 観客数：1,000名

2018年度の事業活動予定

■第22回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2018年5月31日(木)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：一般社団法人日本賢人会議所
出演団体：6団体

■第3回大学太鼓フェスティバル

期 日：2018年8月30日(木)
場 所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
出演団体：16団体

■第20回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2018年10月7日(日)
場 所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：31団体

■第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

期 日：2018年10月14日(日)
場 所：J:COM ホルトホール大分(大分県大分市)
共 催：文化庁、厚生労働省、大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、
第33回国民文化祭大分県実行委員会・第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、
第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会、公益財団
法人日本太鼓財団
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部、大分県太鼓連合
出演団体：33 団体

■第2回浅草太鼓祭

期 日：2018年11月3日(土・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■第15回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2018年11月25日(日)
場 所：白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、
一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■第21回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2019年3月24日(日)
場 所：けんしん郡山文化センター(福島県郡山市)
主 管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部
出場団体：60団体程度

■日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会 & 資格認定事業) 日本太鼓全国講習会

第62回日本太鼓全国講習会 2018年6月 2日(土)・3日(日) 群馬県藤岡市
第63回日本太鼓全国講習会 2018年9月22日(土)・23日(日) 愛知県西尾市
第64回日本太鼓全国講習会 2019年2月16日(土)・17日(日) 熊本県宇城市

公益財団法人 日本太鼓財団概要

＜設 立 日＞ 1997 年 11 月 11 日

＜公益財団移行日＞ 2012 年 4 月 1 日

＜資 産＞ 基本財産 3 億円

＜加盟支部数＞ 45 支部 (41 都道府県)

＜加盟団体数＞ 約 666 団体

＜会 員 総 数＞ 約 19,000 人

＜役 員＞	会 長	松本 英昭	(一社)地方公務員共済組合協議会会長
	副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
	副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	理 事 長	塩見 和子	常 勤
	常務理事	大澤 和彦	常 勤
	理 事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
	理 事	大宅 映子	評論家
	理 事	島津 久永	(公財)山階鳥類研究所顧問
	理 事	中西 由郎	元(公財)日本ゲートボール連合専務理事
	理 事	山内 剛	(社福)富岳会理事長
＜評 議 員＞	評 議 員	大竹 英雄	(公財)日本棋院顧問(名誉碁聖)
	評 議 員	岡田 知之	(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
	評 議 員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	北村 汎	元駐英大使
	評 議 員	佐藤 淳子	(一財)ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高島 肇久	(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長
	評 議 員	濱田麻記子	(株)林原チャンネル代表取締役社長
	評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
	評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
	評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家
＜監 事＞	監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
	監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関することだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。



0120-331-531

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索





〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomon 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp